

2020年12月期第3四半期 決算説明資料

～想いを世界に、GMOリサーチ～

GMO RESEARCH

STOCK CODE : 3695

代表取締役社長 細川 慎一
取締役CFO 森 勇憲

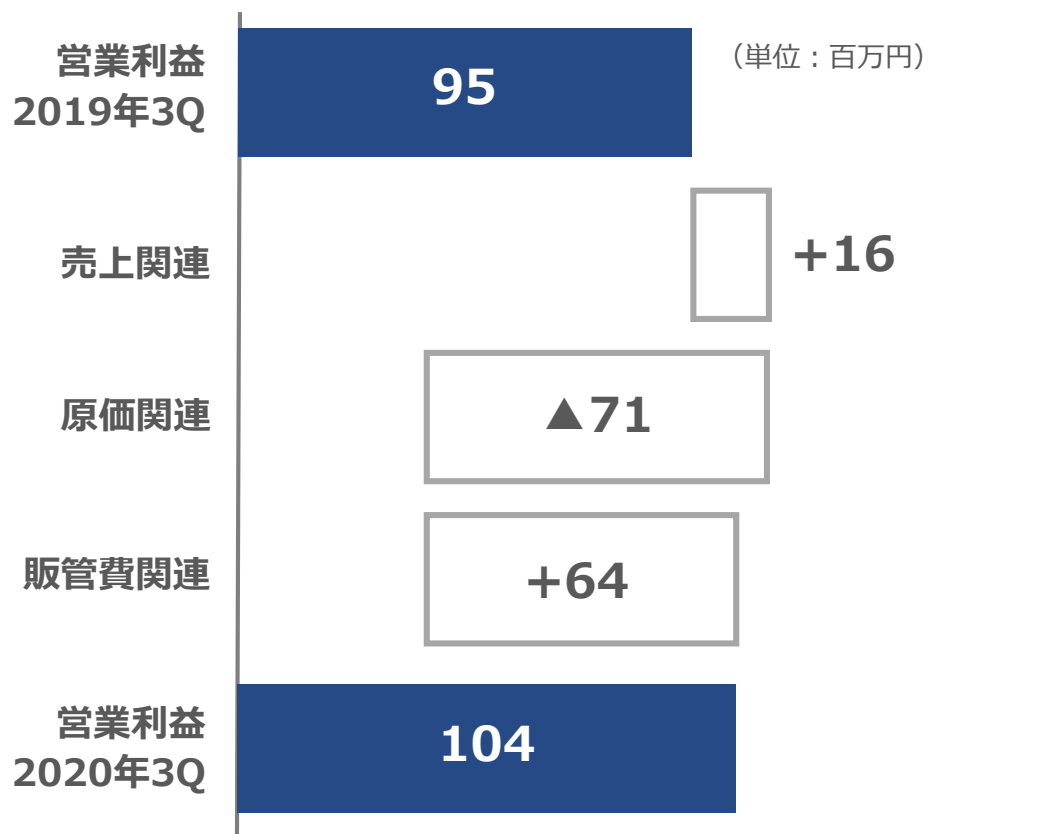
1. 結論と要約
 2. 決算概要
 3. 事業の概況
 4. Appendix
- 質疑応答

1. 結論と要約

- 8月以降、コロナ禍における調査案件受託本数が回復し、3Q累計期間の売上高は前年比+0.7%
- 3Q期間に営業利益71百万円を計上し、営業利益以下の各段階損益は前年比プラスを確保

(単位：百万円)	2019 1-9月	2020 1-9月	対前年同期 増減率
売上高	2,385	2,401	0.7%
営業利益	95	104	9.4%
経常利益	72	72	0.0%
最終利益	52	55	5.5%

- 売上高の増加以上に原価が増加し、3Q累計期間の粗利は前年比55百万円減少
- 2Q以降の不要不急の支出の見直しにより販管費を抑制し、3Q累計期間の営業利益は9百万円増加



主な増減要因

・売上関連

コロナ禍においても調査案件受託本数が回復傾向にあり、前年比プラス成長を確保

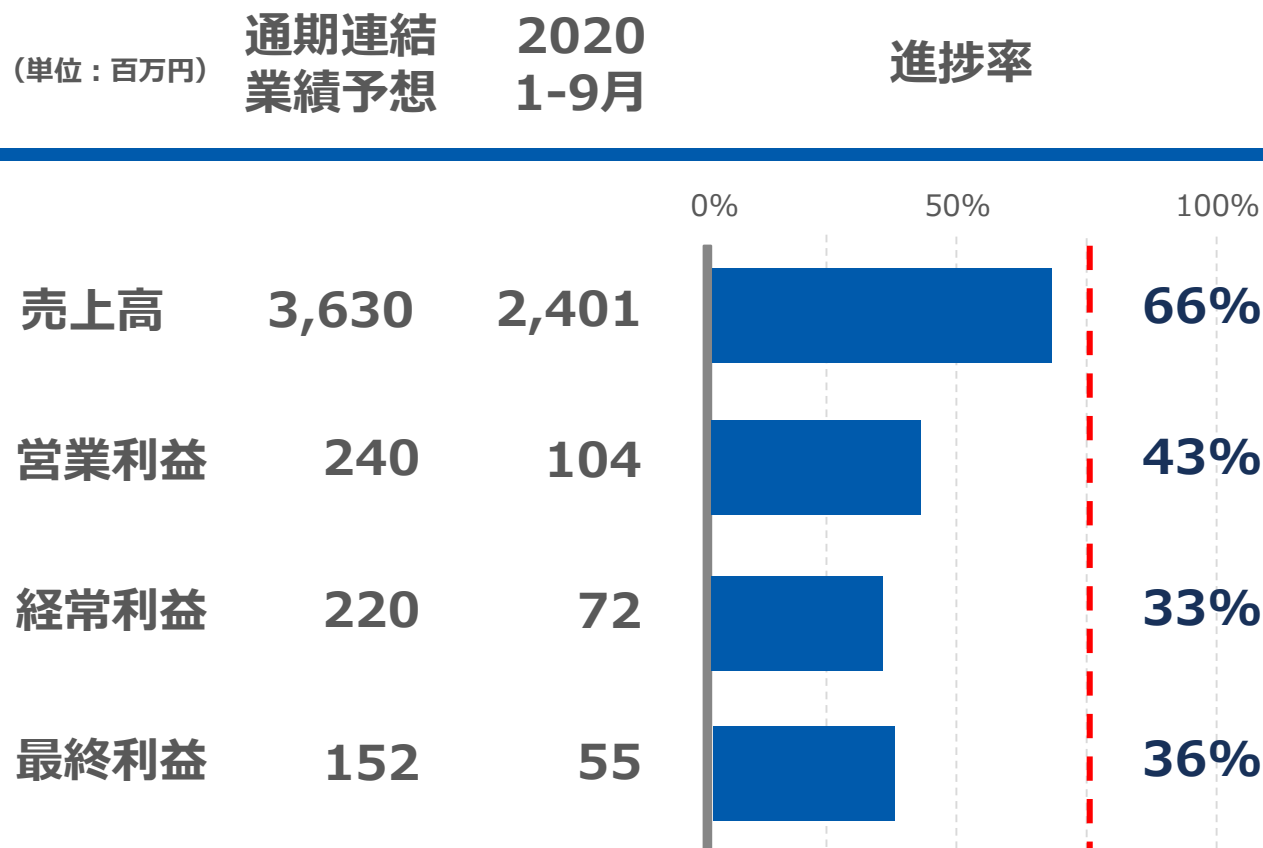
・原価関連

高粗利率案件の減少や固定費原価の影響により、原価率が悪化

・販管費関連

不要不急の経費の支出抑制などにより販管費を削減

- 売上高は、2Q時点から変わらず、ほぼ計画通りの進捗を継続
- 3Q期間に営業利益を71百万円計上したことにより、営業利益以下の各段階損益も、ほぼ計画通りの進捗に回復



連結業績予想について

連結業績予想は、第3四半期までの状況、現在の新型コロナウイルス感染症の状況とそれを踏まえた当社の対応を総合的に勘案した結果に基づいております。さまざまな要因により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。今後、公表すべき事実が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

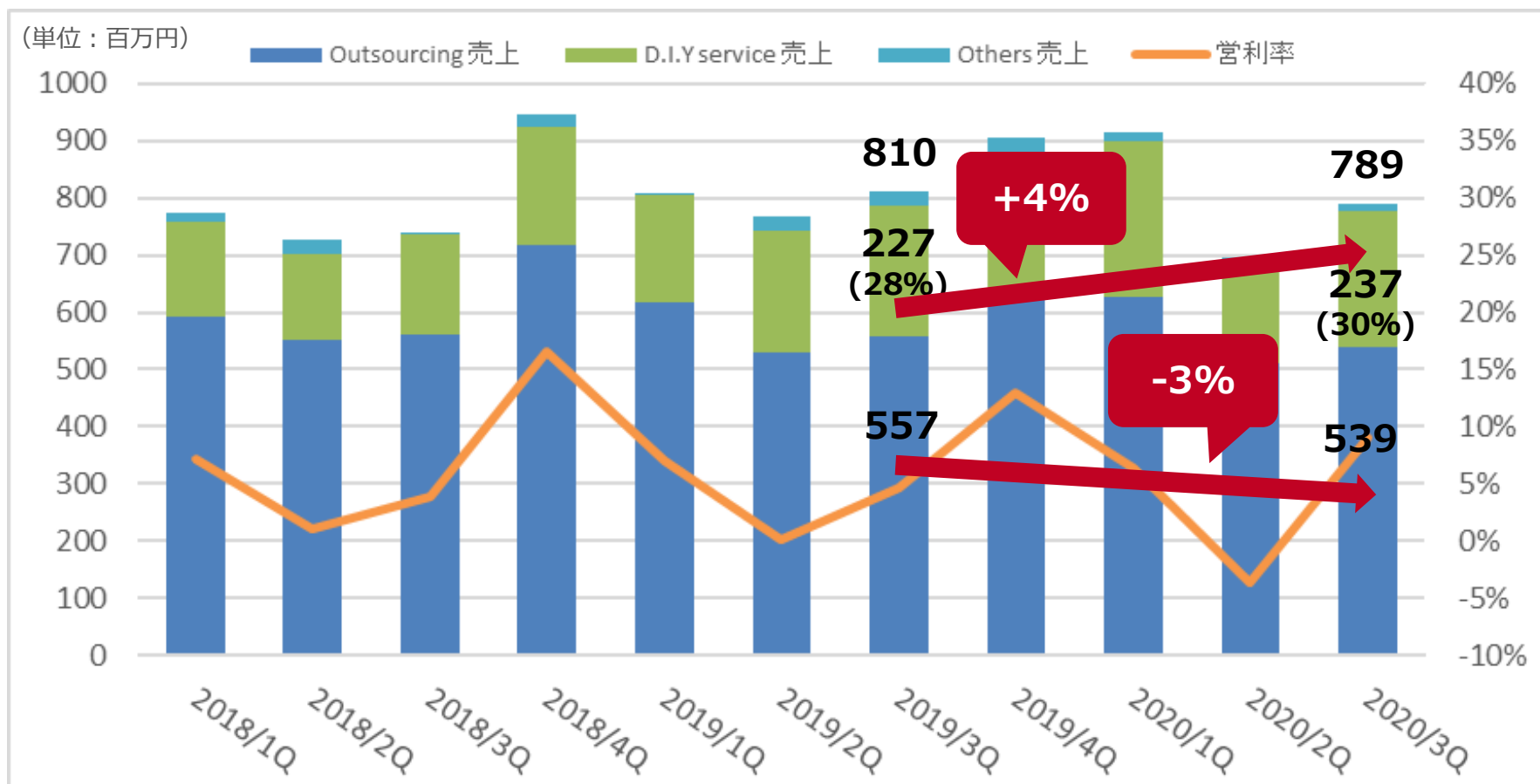
2. 決算概要

(単位：百万円)	2019 1-9月	2020 1-9月	前年比
売上高	2,385	2,401	100.7%
売上原価	1,255	1,326	105.6%
売上総利益	1,129	1,074	95.2%
（売上総利益率）	47.4%	44.8%	▲2.6pt
販売費及び一般管理費	1,034	970	93.8%
（販管費率）	43.4%	40.4%	▲3.0pt
営業利益	95	104	109.4%
（営業利益率）	4.0%	4.3%	+0.3pt
経常利益	72	72	100.0%
当期純利益	52	55	105.5%

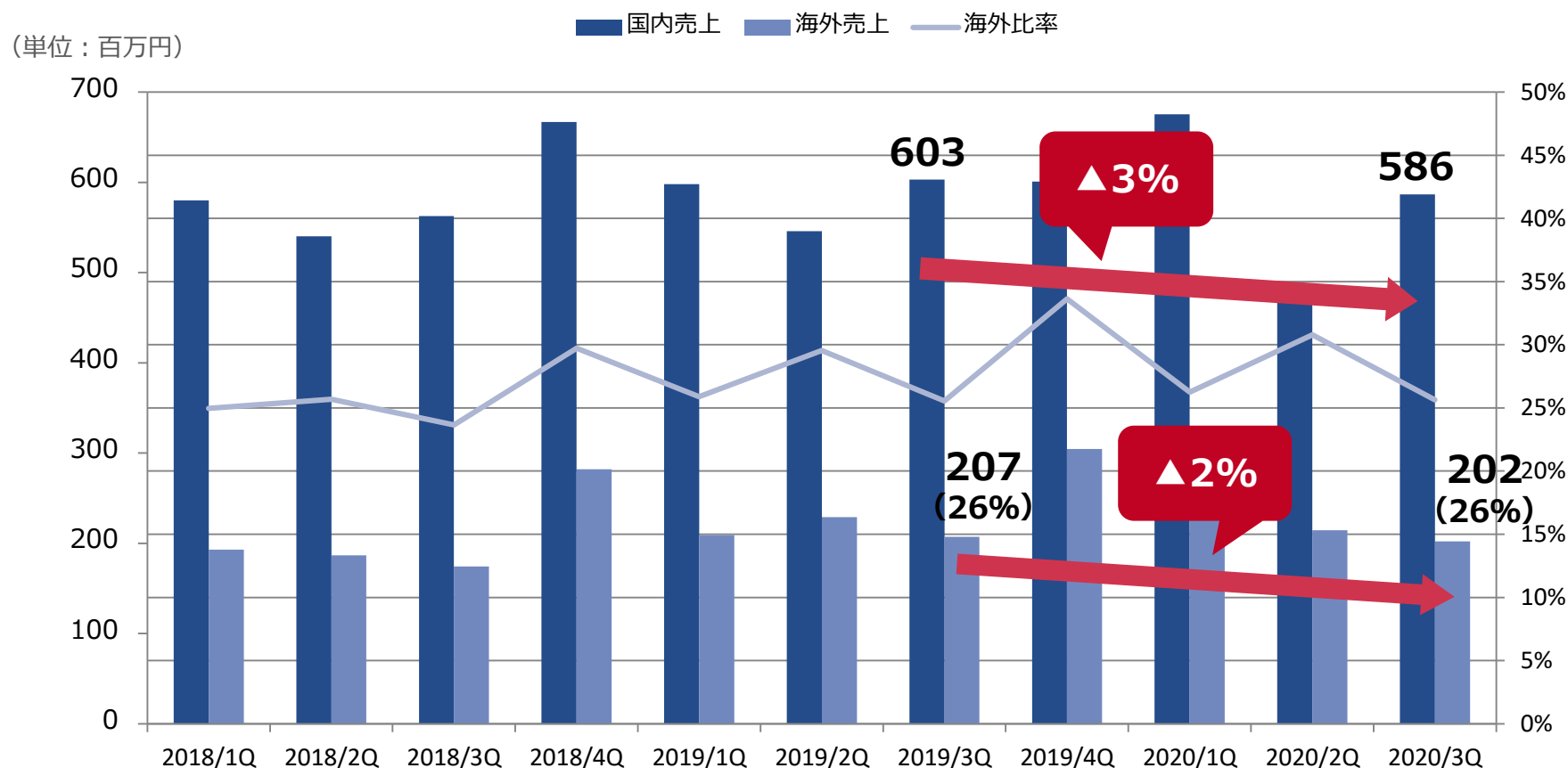
(単位：百万円)	2019 12月末	2020 9月末	前期末比
流動資産	1,700	1,564	92.0%
現金及び現金同等物	727	862	118.6%
固定資産	383	406	105.8%
資産合計	2,083	1,970	94.6%
流動負債	690	594	86.1%
固定負債	14	9	65.7%
負債合計	705	604	85.7%
純資産	1,378	1,366	99.1%
(純資産比率)	66.2%	69.3%	+3.1pt

3. 事業の概況

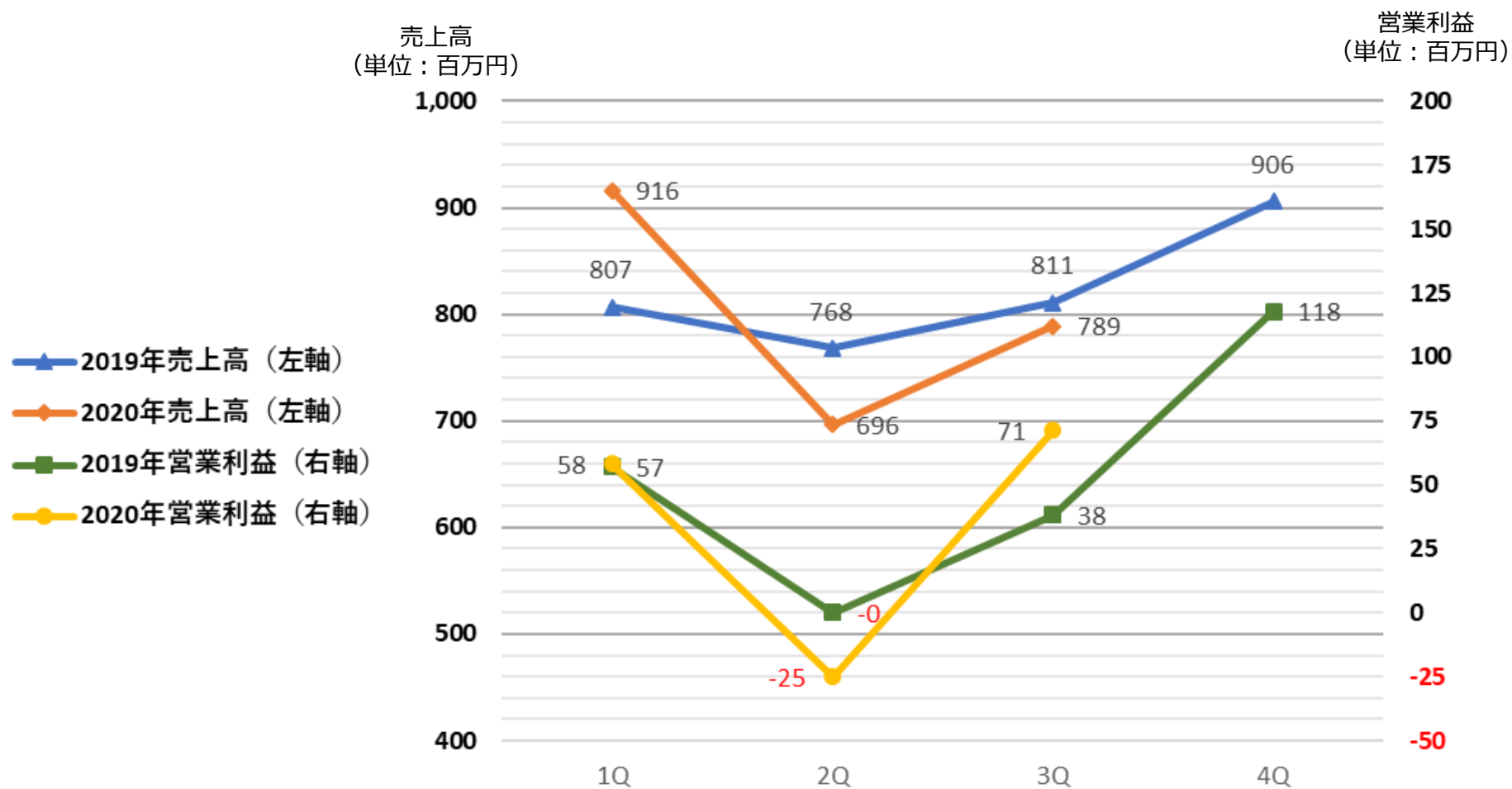
- アウトソーシングサービスは、前3Q比で▲3%(18百万円減)
- D.I.Yサービスは、前3Q比で+4%(10百万円増)となり、売上高に占める割合は30%に伸長



- 売上高は前3Q比で国内▲3%(16百万円減)、海外▲2%(5百万円減)。3Q累計期間合計では、海外は過去最高売上を達成。
- 3Qの海外売上高比率は26%で、前3Q比と同率。

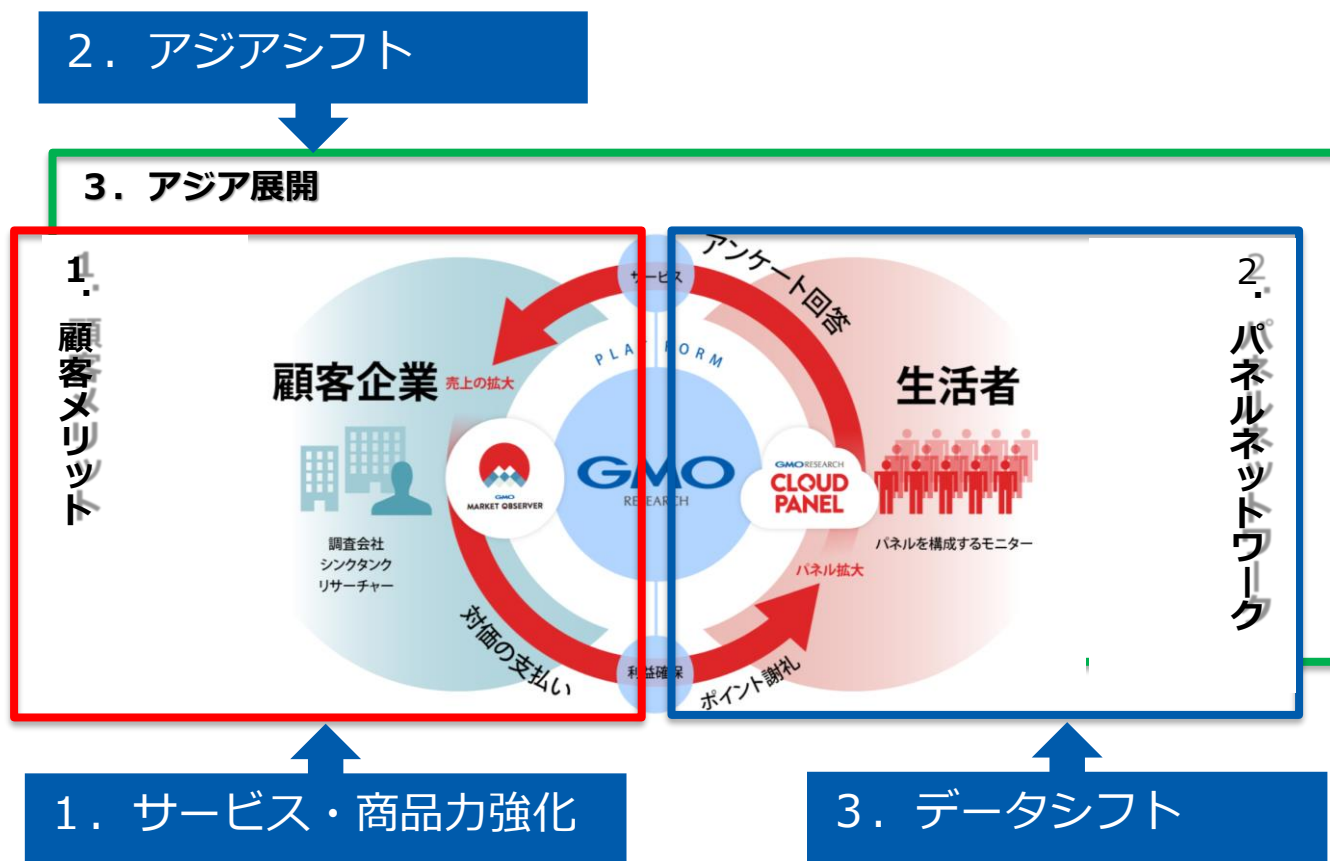


■ コロナ禍において不要不急のコストの見直しを実施し、収益力が改善



2020年の重点施策（期初プラン）

1. サービス・商品力の強化（需要変化に合ったサービス・商品提供、MO Lite™, MO-Insights™）
2. アジアシフト（特に中国以外のアジア市場に照準を当てる）
3. データシフト（当社の所有データ公開、MO-CDP™）



<業績への影響>

	国内	海外
1Q	目立った影響なし	
2Q	緊急事態宣言発令の4月・5月に案件の延期・凍結による売上低下、6月以降に回復傾向	アジア各国のロックダウンが本格化した4月・5月に案件の延期・凍結による売上低下、6月以降に回復傾向
3Q	引き続き事業環境は厳しいが、回復傾向は継続。特に8月以降は前年同月水準まで案件受託状況が回復。	

<顧客ニーズの変化>

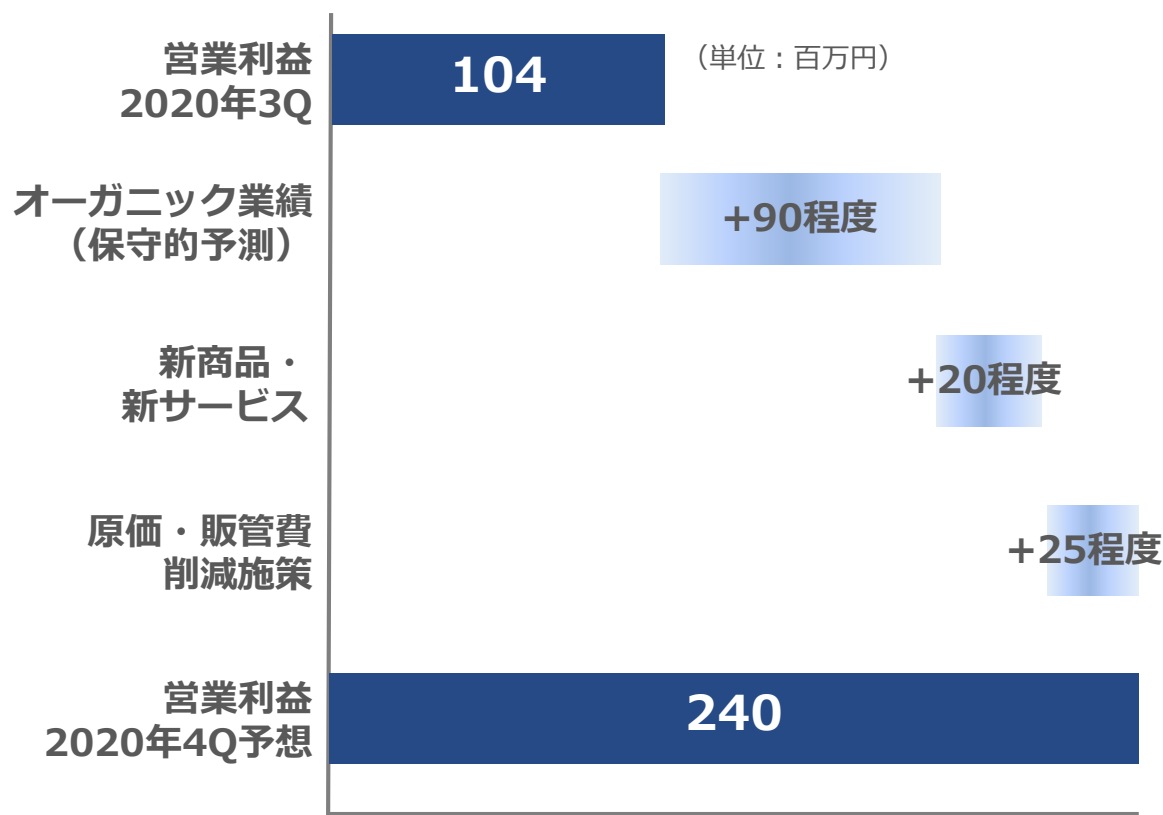
- 調査/インタビューのオンライン化（非接触化）の加速
 - ・とりわけインタビュー等の定性調査とリクルーティング手法が大きく変化
- 事業会社による調査費用圧縮の動き
 - ・先進国（日本・欧米）では、DIY型サービスのニーズの高まり（単価減）
 - ・アジア各国では事業会社から当社のようなパネル所有会社への直接発注のニーズ増

2020年重点施策 + 新型コロナの影響

<下半期の重点的取り組み事項>

	国内	海外
サービス・商品力強化	<ul style="list-style-type: none"> 「MO Insights」のリリース(オンラインインタビュー新サービス) 「MO Lite」のリリース(国内DIY強化新サービス) 	<ul style="list-style-type: none"> 主要調査会社とのシステム連携加速(海外DIY強化新サービス)
アジアシフト	—	アジア営業チーム、オペレーション、マーケティングの強化
データシフト	<ul style="list-style-type: none"> 「MO CDP」の国内リリース、パネルDWHのデータ公開 	<ul style="list-style-type: none"> メンバーシップ・マーケティング ソリューションの継続
オペレーションコスト低減	働き方改革によりすべての業務、社内のコスト、仕事のやり方等の改善による更なるコストダウン(通勤、出張、その他)	

- 当期の連結業績予想の変更はしておりません。
- 現在のコロナ禍を踏まえた保守的なオーガニックな営業利益の積み上げのほか、コロナ禍で変化した顧客ニーズに適合した新サービス・新商品の投入による売上増加、および原価や販管費の削減を見込んでおります。



・オーガニック業績

現在の状況で期末まで推移する前提での予測（例年のトレンドで見通し）

主な下期追加施策

・新商品・新サービス

サービス・商品力強化およびアジアシフトの施策の実施により、事業利益の増加に取り組みます

・原価・販売管理費削減施策

システムの機能開発による効率化や、不要不急の経費の支出抑制、働き方改革などにより原価・販管費のコストを削減します

※上記は当社の予想であり、実際の業績が異なる結果となる可能性があります



調査ツール

MO Survey by GMO

★高機能アンケートツール

MO Simple Survey by GMO

★無料簡易・アンケートツール

MO Insights by GMO

New

★ライブインタビュー、
オンライン定性調査ツール

調査配信 プラットフォーム

MO Basic by GMO

★高機能の配信、調査管理
プラットフォーム

MO Lite by GMO

New

★簡易的・自動ターゲット
配信プラットフォーム

Data Warehouse

MO CDP by GMO

New

★15か国3600万人の回答
属性等をベースに、各種
プラットフォーム連携が可能

調査パネル 運営ツール

MO Panel Management by GMO

★自社の顧客をパネルとして活
用するためのパネル管理ツール

2020年3月に新クラウドソリューションサービス「**MO Insights byGMO**」
(以下、「MO Insights」)をリリースしました。

MO Insights



- MO Insightsは、アジア15の国と地域の3,600万人を超える消費者と実際に顔を合わせることなく、オンライン上で定量・定性調査を完結することができるクラウドソリューションサービスです。
- インタビュー形式の定性調査を『MO Insights ビデオIDI』または『MO Insights ビデオチャット』の2種類の調査方法で行うことができます。
- 「MO Insights」を利用することで、これまでオフライン調査にかかっていた、インタビューを実施する会場や録画・録音機器の手配、消費者を案内するための人的リソースおよびコストを削減することができます。

2020年8月に「**MO Lite byGMO**」をリリースしました。

お客様ご自身が作られたアンケートを、当社のJapanCloudPanelに連携して、お客様ご自身で簡単に安価にアンケートを配信できるツールとして公開しました。

各種アンケートシステム

サーベイモンキー



MarketObserver

シンプルサーベイ(無料版)



クリエイティブサーベイ



Googleフォーム(申請中)



2020年8月に「**MO CDP byGMO**」をリリースしました。15か国3600万人のパネルから集めた『ゼロパーティーデータ(*)』(各種プロフィールデータ、アンケート回答データ、その他行動データ)を各種マーケティングプラットフォーム等で連携・活用しやすいようにDWHに格納し、CDP for Research Targetingとしてまずは日本のデータを公開いたしました。

ASIA CLOUD PANEL

- 会員プロフィールデータ
- アンケート回答データ
- アクセスログなどの行動データ

MOCDP byGMO



アジア15か国3600万人のパネルのゼロパーティーデータ(*)をもっと使いやすく、連携しやすく一般公開

『ゼロパーティーデータ』

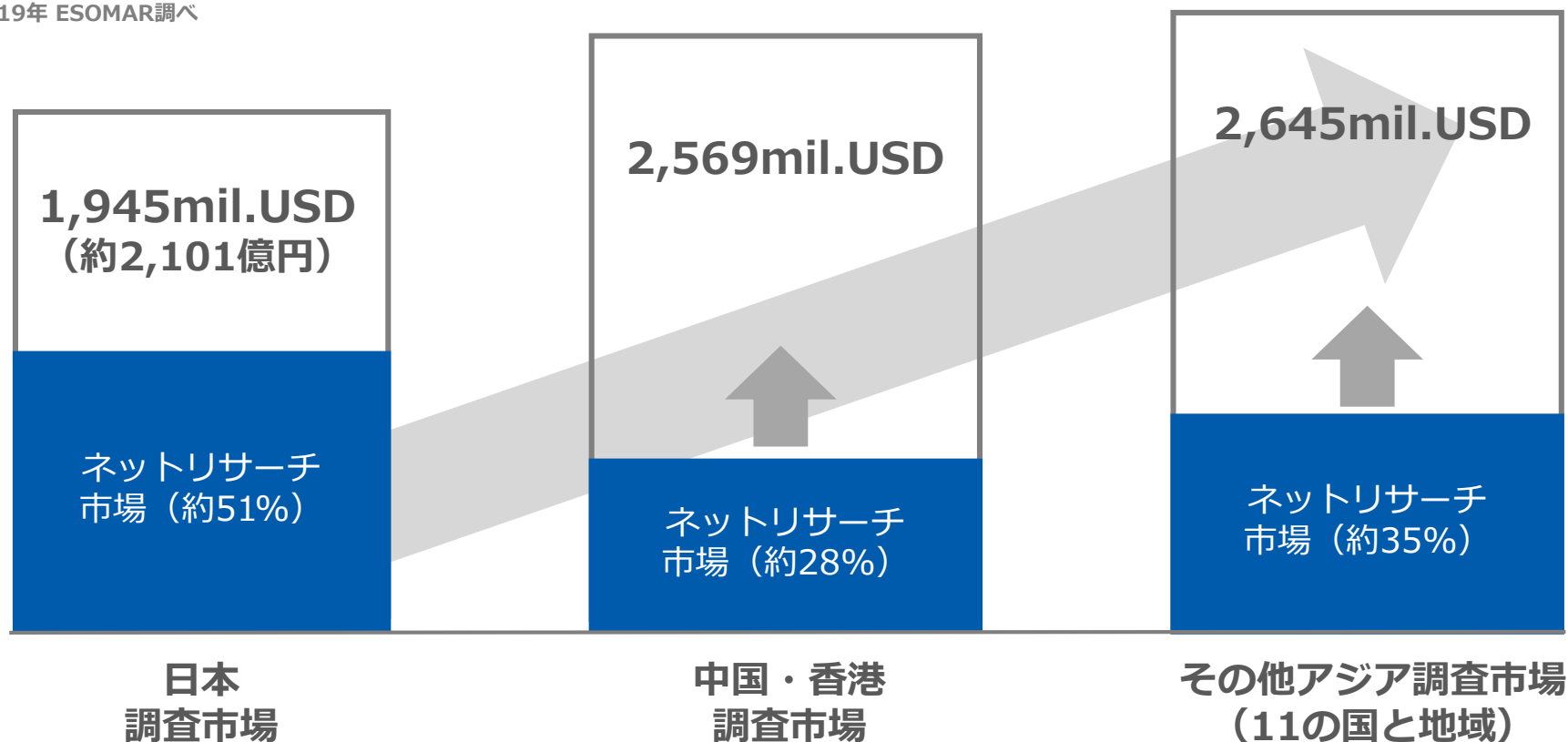
*ゼロパーティーデータとはユーザーが何らかの対価を得ようと自ら企業に提供するデータ。「同意を得た1stパーティデータ」とも解釈される。調査企業のフォレスターが2018年11月に命名した用語です。

GDPR (EU一般データ保護規則) やCCPA (カリフォルニア消費者プライバシー法) に見られるように、データに関する同意の必要性の重要度が増している現状、ゼロパーティーデータはプライバシーを守りつつ、精緻な情報を収集する手法として活用できるデータです。

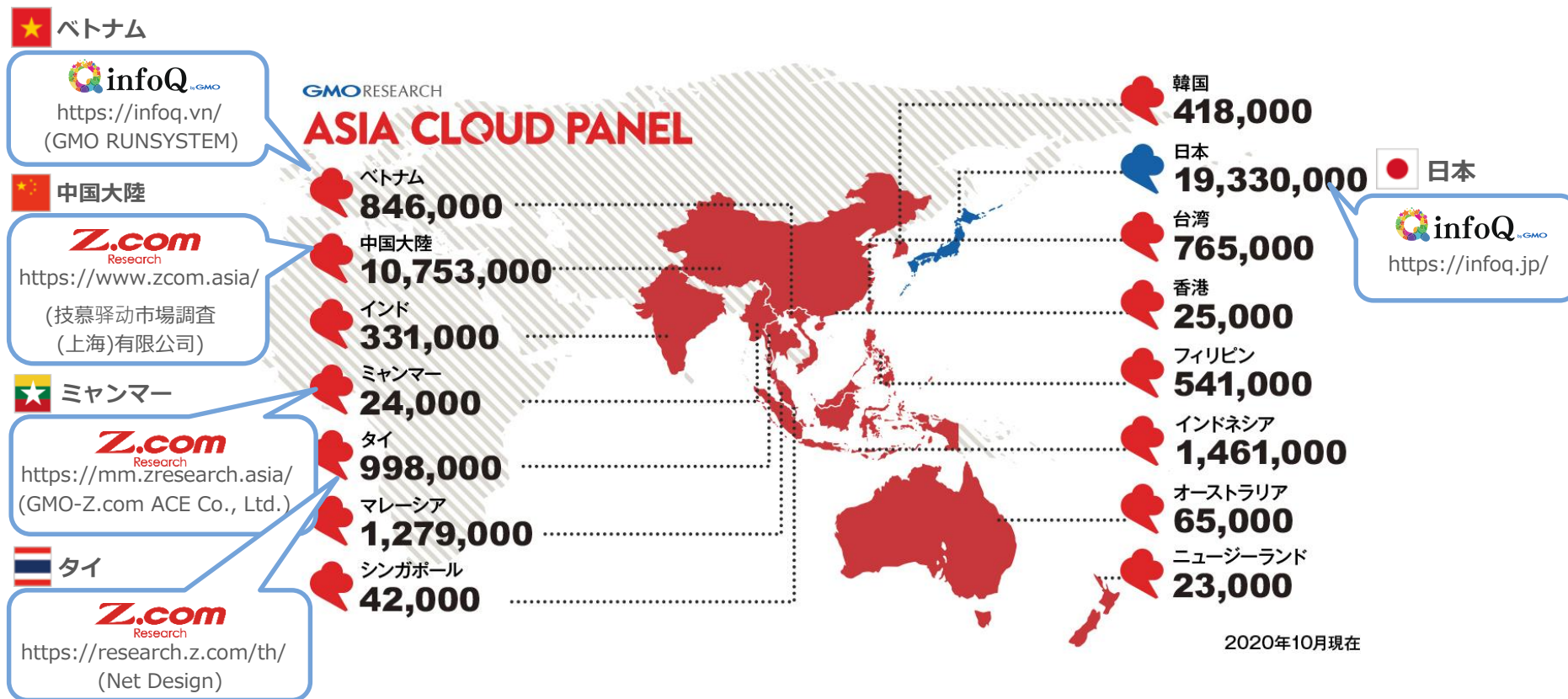


- アジア地域のインターネットリサーチ市場はオンライン化が進み、今後さらに拡大すると予想
- 欧米企業と比較し、日本からのアジア展開は地理的、文化的優位性あり
- まだ**アジア調査**でのビッグプレイヤーは不在のため、**圧倒的No1**を目指す

2019年 ESOMAR調べ



- 自社媒体を含む、**業界最大規模**のアジアパネルネットワークを構築
- アジア15の国と地域3,600万人超
→大型、複数ヶ国にまたがる案件等に対応可能であり、競争力、提案力が高い



当社のクラウドパネルパートナーに対して、消費者の行動履歴やアンケートからのデータなどを幅広く収集し、パートナーのデジタルマーケティングにおける最適化を付加価値として競争力を高めるコンサルティングを提供します。

(メンバーシップ・マーケティング・ソリューション)



4. Appendix

- 当社のフィロソフィー
- ビジネスモデル①②
- サービス別販売先・サービス内容説明表
- アウトソーシングサービスとDIYサービス
- 各拠点人員数推移

想いを、世界に

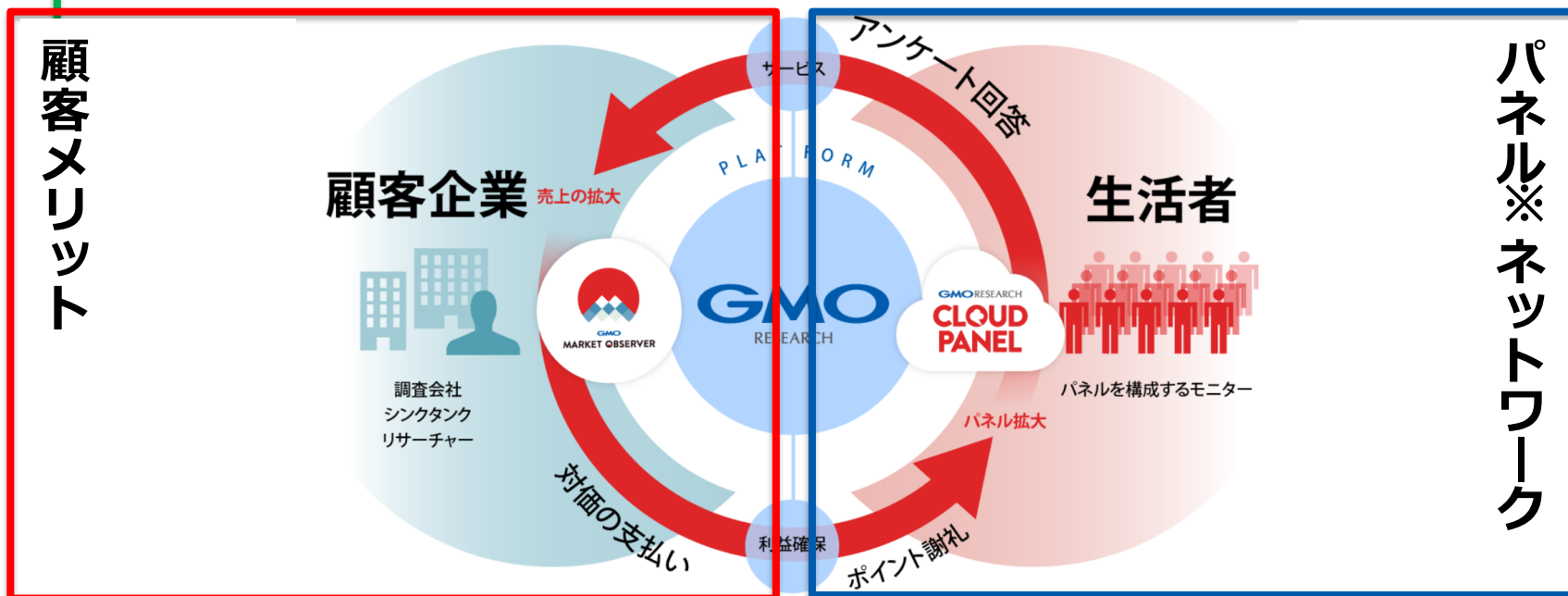
Engaging people around the world

GMO RESEARCH

～私たちは、生活者と企業の「想い」に向き合い
わくわくするアイデアやテクノロジーで「世界」につなぎ、
笑顔・感動の創造に貢献する～

- インターネット上で、アンケート調査を手軽に利用できる仕組みを国内外の顧客企業に提供
- 顧客企業（案件量）と生活者（パネル会員ネットワークの規模）を両輪で拡大させる

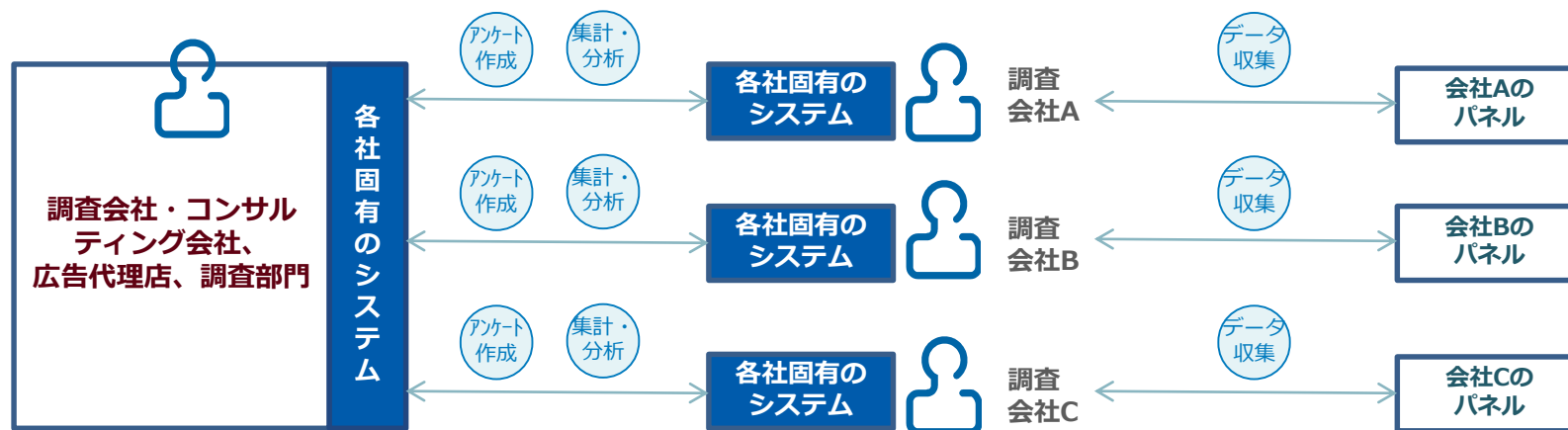
海外展開



※パネルとは、調査に回答する一般消費者やビジネスパーソン

- ・ アジア最大規模のパネルネットワークを利用し、調査パネルを低コストで提供
- ・ 従来、各社バラバラに開発していた、インターネットリサーチツールを標準化し、低コストで提供

従来



業界の
業務標準化

標準化



サービスの名称		販売先	サービスの内容
アウトソーシング サービス	Full Service	調査会社/ 広告代理店/ コンサルティング 企業	<ul style="list-style-type: none"> オンラインでのアンケート画面作成・アンケート案内配信・アンケートデータの回収・クリーニング、集計といった一連の工程を一貫して提供します。 アドテクのプラットフォームと連携した広告業界向けサービスを提供します。(CPAT)
	Sample Supply		顧客が自社内でオンラインでアンケート画面を作成している場合に、当社が回収管理を行い、顧客のアンケート画面に回答結果を提供します。
D.I.Yサービス	Self Sample Supply (SSS)		インターネットリサーチにおいて、当社がサービスインフラとパネルのみを提供します。
	システム関連売上		GMO Market Observerを顧客のリサーチプラットフォームとして提供します。
その他サービス	New MR/ コンベンショナル調査	一般企業	New MRとは、アイトラッキング調査、MROC、Scanamind (スキャナマインド*)、コミュニティといった最先端のマーケティングリサーチソリューションを提供するサービスで新たなプラットフォーム提供のための研究開発の役割を担っています。また、コンベンショナル調査は、オフライン(現場)で実施する調査手法であり、オンライン業務の更なる自動化のため戦略的に取り組んでおります。

*Scanamindは、株式会社クリエイティブ・ブレインズの登録商標です(登録番号第5109952号)

		アウトソーシングサービス		DIYサービス	
サービス名称		Full Service	Sample Supply	Self Sample Supply	システム関連 売上
業務工程	1. 調査設計	顧客	顧客	顧客	顧客 (注)
	2. 調査画面 作成	GMO Research	顧客	顧客	
	3. プロジェクト マネジメント	GMO Research	GMO Research	顧客	
	4. パネル管理	GMO Research	GMO Research	GMO Research	
	5. Cloud Panel 利用	GMO Research	GMO Research	GMO Research	

(注) お客様の中には、当社のCloud Panelをご利用にならない場合もあります。

各拠点における正社員数の推移

(単位：人)

	東京	下関	シンガポール	マレーシア	インド	中国	正社員合計
拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> 本社機能 国内欧米営業、PJ管理 国内パネル管理 システム開発 	<ul style="list-style-type: none"> 国内PJ管理、営業補助 国内パネル管理補助 その他業務補助 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア営業 東南アジアパネル管理 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 アジアパネル管理、開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米、東南アジアPJ管理、営業補助 	<ul style="list-style-type: none"> 営業 PJ管理 中国パネル管理 	
2017年1月1日時点	87	—	2	—	15	9	113
2017年7月1日時点	92	2	2	—	16	10	122
2018年1月1日時点	91	8	4	—	16	7	126
2018年7月1日時点	94	20	4	4	15	8	145
2019年1月1日時点	88	24	3	4	14	8	141
2019年7月1日時点	96	30	3	5	14	8	156
2020年1月1日時点	97	28	3	6	14	8	156
2020年7月1日時点	100	29	3	6	14	5	157
2021年1月1日見込み	103	29	3	6	14	5	160
半期人員増減数	+3	±0	±0	±0	±0	±0	+3
補足	業務委託の内製化 海外エンジニア新卒採用	—	—	—	—	—	—

想いを、世界に — GMOリサーチ

GMO RESEARCH

Engaging people around the world

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。